

那須岳

○概況（平成16年7月）

火山活動は、引き続き落ち着いた状態で経過しました。

今期間も引き続き、火山性地震は少なく、噴煙活動も静穏でした。2004年7月5～8日に行われた機動観測では、特段の変化は認められませんでした。また、火山活動に関連する地殻変動は観測されませんでした。

○地震活動及び微動の発生状況

地震活動は引き続き落ち着いた状態でした。地震回数は1日当たり0～2回と少ない状態が続いています（図1）。火山性微動は観測されませんでした。

表1 那須岳 火山性地震日別回数表

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日		旬計	
	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0		5	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日		旬計	
	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0		2	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	5	12

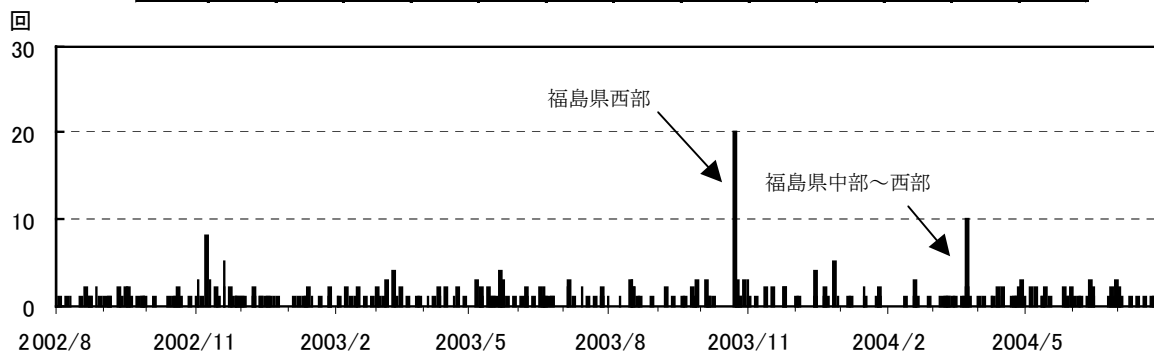


図1 那須岳 火山性地震日別地震回数（2002年8月1日～2004年7月31日）

○噴煙活動の状況

噴煙活動は引き続き静穏な状態でした。遠望カメラによる観測では、噴煙高度の日最大は50～200mでした（図2）。

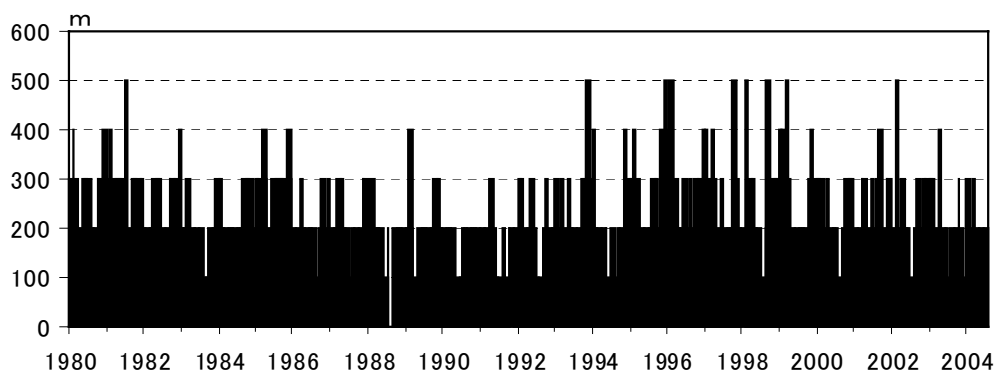


図2 那須岳 月別最大噴煙高度（1980年1月～2004年7月）

○地殻変動の状況

GPS 観測では、火山活動に関連する変動は認められませんでした (図 3)。

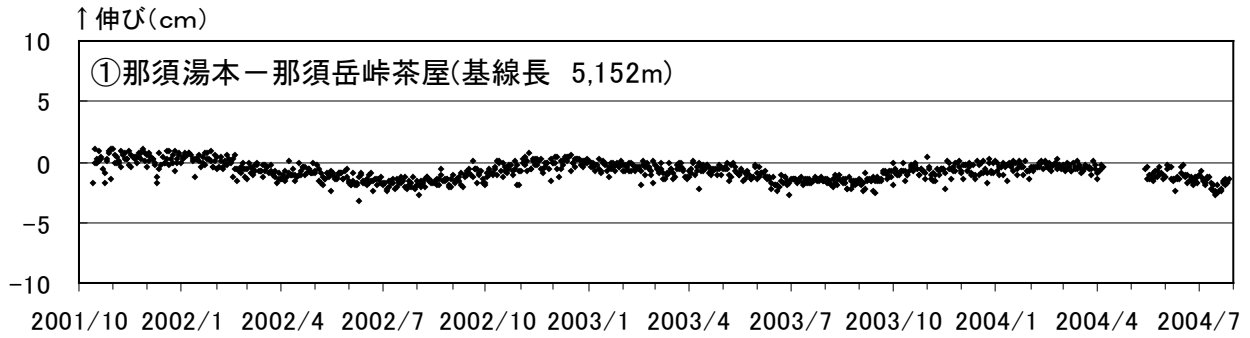


図 3 那須岳 GPS 観測結果(基線長変化) (2001 年 10 月 1 日~2004 年 7 月 31 日)

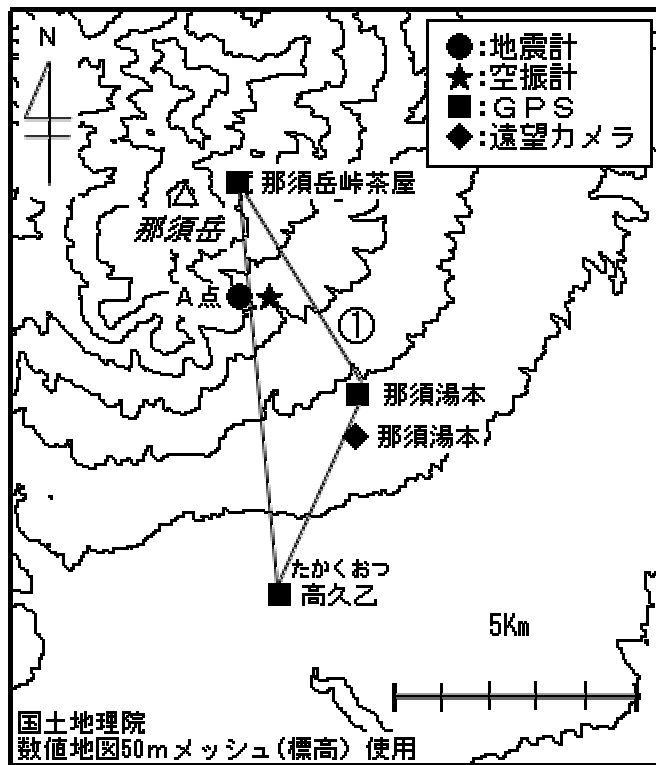


図 4 那須岳 気象庁の観測点配置図

○機動観測

2004 年 7 月 5～8 日にかけて機動観測を行いました。

・西側斜面噴気地帯の状況

昨年 11 月と比較して、噴気活動や地熱分布に特段の変化は認められませんでした。サーミスタ温度計で測定した下図Aの噴気孔の温度は 149℃で、昨年 11 月（148℃）と比べて変化はありませんでした。

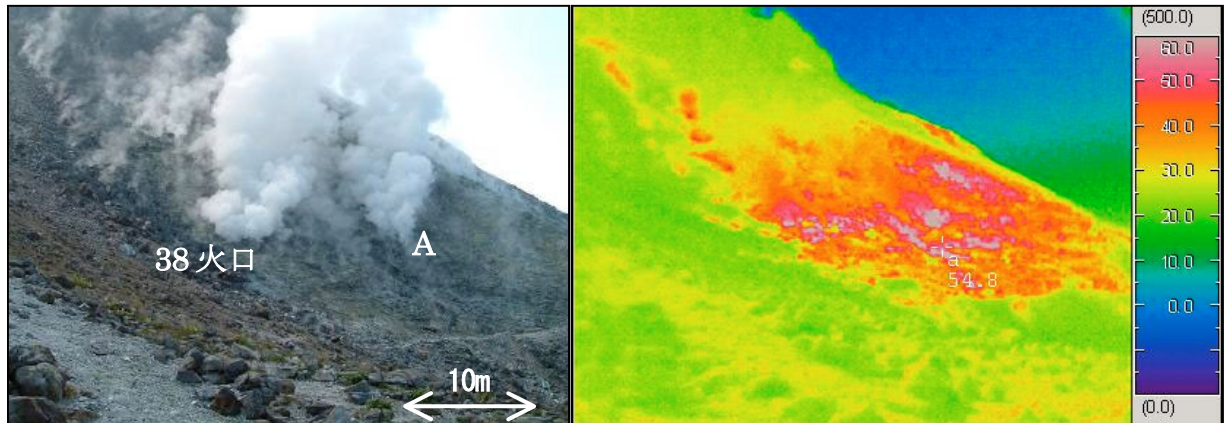


図5 那須岳 西側斜面噴気地帯の状況（左）と赤外熱映像装置による温度分布（右）

・全磁力観測

全磁力繰り返し観測では、2003 年 11 月と比べて温度の上昇を示すような傾向（北側の観測点で全磁力値が増加、南側の観測点で減少する変化）は認められませんでした。

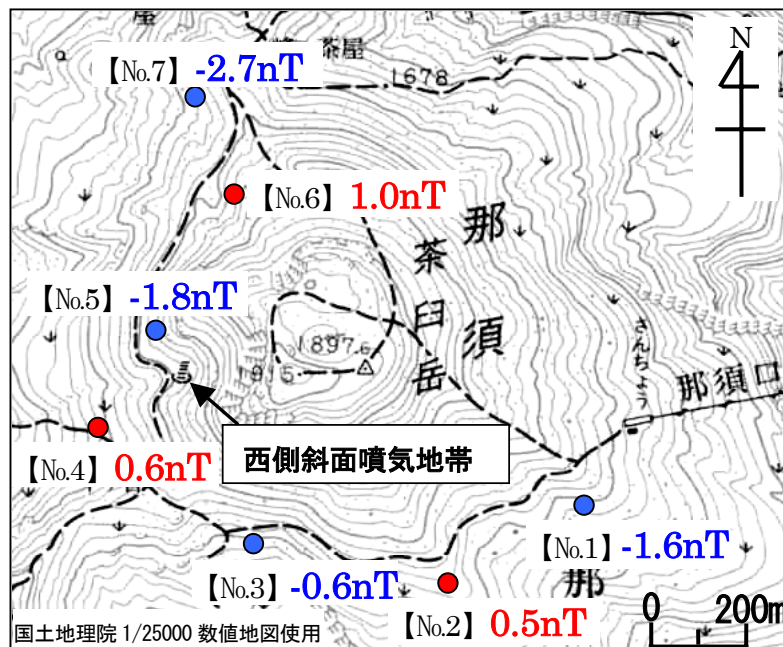


図6 那須岳 全磁力観測変化量分布（2003 年 11 月～2004 年 7 月） 赤字：増加 青字：減少

・GPS 繰り返し観測

GPS 繰り返し観測では、火山活動に関連する変動は認められませんでした。